

# 人間ドック大腸内視鏡検査のため予防医療センターを受診された受診者様の診療情報を用いた生活習慣病・ライフスタイルと大腸憩室の発生に関する臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属予防医療センター 職名 准教授 氏名 井上 詠 連絡先電話番号 03-6910-3533
実務責任者	所属予防医療センター 職名 准教授 氏名 井上 詠 連絡先電話番号 03-6910-3533

このたび当院では、上記の理由で受診された受診者様の診療情報を用いた下記の医学系研究を医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦2012年8月1日より2016年7月31日までの間に、予防医療センターにて人間ドックのため受診し、大腸内視鏡検査を受けた方。下記の方は除きます。

- 何らかの理由で人間ドックの通常の検査項目を受けられなかった方
- 胸部CT(内臓脂肪面積)検査を受けられなかった方

## 2 研究課題名

承認番号 20160175

研究課題名 生活習慣病・ライフスタイルと大腸憩室の発生に関する研究

## 3 研究実施機関

慶應義塾大学病院予防医療センター

#### 4 本研究の意義、目的、方法

大腸憩室は比較的頻度の高い疾患で、従来は欧米に比べて少ないとされていますが、日本でも大腸憩室症が増加しているといわれています。大腸憩室症の大半は症状がありませんが、憩室出血、憩室炎や穿孔、膿瘍形成といった合併症を生じた場合には、時には緊急内視鏡や外科的処置を要する事態となり、臨床的に的確に憩室の有無、状態を把握しておく必要があります。これまでの検討により、便秘や繊維成分の少ない食習慣などが憩室の誘因となる因子として報告されていますが、日本での増加要因も含め、明らかなことは解明されていません。本施設で行っている人間ドックでは、生活習慣病/メタボリック症候群関連の血液検査項目のみならず、CTによる客観的な内臓脂肪面積評価、現病歴や治療内容、喫煙、食習慣、身体的活動度にいたる詳細な問診内容を聴取しています。そこでドックの検査項目、問診結果と大腸内視鏡検査による憩室の有無、個数、部位との関連性を解析し、大腸憩室の発生に何が寄与しているかを明らかにします。

#### 5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧(医師記録、看護記録、質問票) 検査画像データの閲覧

#### 6 本研究の実施期間

倫理審査許可日~2019年9月30日(予定)

#### 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う受診者様の個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う受診者様の診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 受診者様の個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の研究機関等には一切公開いたしません。

#### 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究実施責任者: 井上 詠

連絡先: 慶應義塾大学病院予防医療センター 電話 03-6910-3533(平日9時~16時30分)

以上